



SAPPORO

～身近な生き物を見つけよう～

さっぽろ 生き物さがし 2018

調査の手引き



「さっぽろ生き物さがし2018」について

札幌市は190万人がくらす大都市ですが、ヒグマのいる広大な森林やサケがのぼる川など、たくさんの生き物がくらす貴重な自然環境が残っています。

「さっぽろ生き物さがし2018」は、札幌の自然環境の状況を把握することを目的に、森林や草地、水辺などの自然環境の指標となる生き物を調べる一斉調査です。3年目の今回は、市内で観察しやすい6つのグループを指標として選び、春・初夏と夏に分けて調べます。みなさんからいただいた報告をもとに、札幌の生き物マップを作成します。

参加者には、結果をまとめた生き物マップと記念品をプレゼントします。また、調査地点や報告数が多いチームをホームページ上で発表します。みなさんが撮った写真もぜひお送りください！

●しらべて知りたいこと、分かること

それぞれの生き物が市内のどこに分布しているかをマップにします。また、今回は指標となる種を選んでいるので、市内の各地域がどんな環境なのかを、そこにすんでいる生き物の種類から推定できます。また、今後定期的に調べることで、分布がどう変化していくかを見たいと考えています。

★指標（しひょう）とは——？

ここで言う「指標」とは、環境の良さを診断する「ものさし」です。太い木があるような良好な状態が保たれた森がないと生きられない生き物もいれば、市街地の小さな若い林でもくらしていける生き物もいます。草むら・川・池などのさまざまな環境について、同じように良好な状態でない生きられない生き物がいます。このような生き物が見られるかどうかを「ものさし」として、その場所がどんな状況にあるのか、どう変化しつつあるのかを確認することができます。

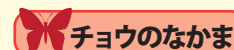
●参加にあたっての注意

野外での活動は安全面に十分注意してください／お子さんは大人と一緒に参加するようにしてください／私有地には無断で立ち入らないでください／一部の原始林など動植物の採集が禁じられている場所では採集しないでください／夏にはスズメバチの活動が活発になりますので、巣のそばに近づかないよう注意してください／送っていただいたチーム名や写真は、札幌市の広報物やホームページ上で使用する場合があります／報告の際にいただいた個人情報は、本事業にのみ利用します

調べ方・報告の仕方について

●調査対象の生き物たち

対象の生き物は、春から夏にかけて見られる6つのグループの動植物です。家の周りや公園でよく見られるものから、豊かな自然のある森や水辺に行かないと見つからないものまで、さまざまな環境にくらす生き物を選んでいきます。



→ 各グループの対象種は4ページ、見分け方は、5～15ページを見よう！

◆調べる

実施期間 前期(春・初夏) 5月20日(日)～6月30日(土)
後期(夏) 7月1日(日)～8月20日(月)

対象の生き物を確認したら、市内各地に見つけに行きましょう。家の庭や学校など身近な場所で繰り返し観察してもよいですし、大きな公園や野山に出かけて、調べてもよいです。また、1つの場所で複数の生き物を調べたり、特定の生き物をいろんな所でさがしたり、さがし方は自由です。似ているなかまもいるので、手引きの見分け方のポイントや各種図鑑類を参考にしてください。種類が分からない時は、メールやフェイスブックで写真を事務局に送っていただければ、なるべく種名を判定します。

◆報告する

報告締切：前期7月7日(土)まで
：後期8月31日(金)まで

結果を調査場所・調査日ごとにまとめて、①報告シートに書いてメールに添付、ファクス、郵便で送るか、②ホームページ上で入力して送信してください。報告は調査のつどでも、すべての調査が終わってからでも良いので、締切に間に合うようお願いいたします。たくさん報告できる方は、シートをコピーするか、ホームページ・メールでシートや入力フォームを入手して書いてください。撮影した生き物の写真もありましたら、あわせてお送りください。また、調査の感想や質問、参加風景を撮影した写真も募集しています。メール本文やテキストファイル、お手紙などでお寄せください。

→ 記入のしかたは「報告シート」を参考に！

→ 報告・問い合わせ先は裏表紙に！

◆結果まとめ

12月送付予定

結果は事務局で整理・集計します。まとめた結果は全チームに送付するほか、記念品をさしあげます。ホームページにも結果を掲載します。特にたくさんの方で調査した参加者や、すてきな写真を送ってくれた参加者には、特別な記念品も用意しています！

これをさがせ! 対象動植物の一覧

さっぽろ生き物さがし2018の対象種です。よく見られる場所やめずらしさもまとめました(★が多いほどめずらしい)。今年は、調査時期を前期と後期に分けていて、グループによって調査時期が異なっています。5ページからの写真やイラストを参考にさがしてみましょ。【※カエルなどのなかまの調査は ハーブソンHokkaido2018(北海道爬虫両棲類研究会主催)と連携し、そちらの成果にも活かされます。】

調査対象時期	グループ	種名	見られる場所	めずらしさ	
前期のみ (春・初夏) 5/20 ~6/30	野鳥 p.5	◆オオジシギ	河川敷や広い草むら	★★	
		◆カッコウ	河川敷や草むらや林のふち	★★	
		◆ヒバリ	河川敷や広い草むら	★	
		◆ウグイス	ササやぶのある林	★	
	カエルなどの 両生類 p.6-7	◆エゾアカガエル	水辺、森林	★★	
		◆エゾサンショウウオ	水辺、森林	★★	
	※その他のカエルのなかま: アマガエル、ツチガエルなど				
	春や初夏 にさく花 p.8-9	◆スズラン	自然林の林内	★★★★	
		◆ドイツスズラン	庭先・花壇	★	
		◆オオアマドコロ	自然林の林内	★★	
◆ホウチャクソウ		自然林の林内	★★		
※その他の白いユリのなかま: チゴユリ、ワニグチソウなど					
◆ミヤマスマレ		自然林の林内	★★★★		
◆オオタチツボスマレ		自然林の林内	★★		
前期・後期 (春~夏) 5/20 ~8/20	マルハナバチ p.10-11	◆外来タイプ	農村部や大きな公園、庭などの開けた環境	★	
		◆三色タイプ	開けた環境や森林	★	
		◆赤色タイプ	低地から高山まで、市街地は少ない	★★★★	
		◆黄色タイプ	低地から亜高山まで、トラマルは市街地少ない	★★	
	チョウ p.12-13	◆灰色タイプ	低地の開けた場所	★	
		◆キアゲハ	草むら・庭先	★	
		◆アゲハ	草むら・庭先	★★	
		◆ミヤマカラスアゲハ類	自然林の林内	★★	
		◆モンキチョウ	草むら・荒地・庭先	★	
		◆コムラサキ	平地や山地の川沿い	★★★★	
後期のみ (夏) 7/1 ~8/20	トンボ p.14-15	◆クジャクチョウ	自然の草むら	★★	
		◆ベニシジミ	草むら・荒地・庭先	★	
		◆オニヤンマ	小川や溪流沿い	★★	
		◆オオルリボシヤンマ	沼や池、流れのゆるい川のそば	★★	
		◆ルリボシヤンマ	沼や池、湿地のそば	★★★★	
		◆アキアカネ	市街地にもふつうに見られる	★	
		◆ナツアカネ	市街地にもふつうに見られる	★★	
		◆ノシメトンボ	市街地にもふつうに見られる	★	
		◆ミヤマアカネ	平地の川ぞいや池のそば	★★	
		◆シオカラトンボ	市街地の川ぞいでも見られる	★★	

野鳥のなかま

※「大きさ」はくちばしから尾まで伸ばした長さ。

さえずりが特徴的で、声だけでそれとすぐ分かる野鳥4種類です。5月から6月にかけては、野鳥たちの子育ての時期で、メスをひきつけるためにオスは盛んにさえずっています。姿が観察しづらいときでも、さえずりをたよりにさがしてみましょ。

オオジシギ ★★ 長くちばし! カッコウ ★★ 歌にもなってる!

場所 河川敷や草原
時期 夏(夏鳥) さえずり: 5~6月
大きさ 約30センチ

場所 河川敷や草原、開けた林
時期 夏(夏鳥) さえずり: 5~6月
大きさ 約35センチ



♪ 上空でのさえずりに続けて、ゴゴゴゴ...と羽音を立てながら急降下する。



♪ むねは、白黒のしまもよう
♪ たく卵することで知られる。

ヒバリ ★ 春をよぶ鳥!

場所 河川敷、草むら、農地
時期 夏(夏鳥) さえずり: 4~7月
大きさ 約17センチ

ウグイス ★ 有名なさえずり!

場所 ササやぶのある林
時期 夏(夏鳥) さえずり: 4~6月
大きさ 約15センチ



♪ 空高く飛んで、上空でさえずりつづけている
♪ いろんな声を組み合わせて鳴く。



♪ 警戒すると、ケキョケキョケキョ...
とけたたましい声で鳴くときがある。

カエルなどのなかま

※「大きさ」は成体の体の長さ。頭からお尻まで【幼生の写真は実際の大きさです】

カエルやサンショウウオのなかまは、春先に水辺に卵を産み、初夏にかけて水中で幼生(オタマジャクシ)として育ちます。成体になると森や草むらに隠れてしまうので、見つけやすい春先に水辺でさがしてみましよう。

エゾアカガエル ★★ 北海道のカエルといえばこれ!

- 場所** 卵・幼生：林内や林のそばの水辺
成体：水辺や林内
- 時期** 卵：3~5月、幼生4~7月
- 大きさ** 4.5~7センチ程度

♪産卵期になると水辺で集まったオスが盛んに鳴く。
♪赤茶色の体をしているが、環境によって色は薄くなる。



成体



卵



幼生

♪幼生は落ち葉や動物の死がいを食べる。サンショウウオに食べられることもある。
♪後足から先に生えてくる。

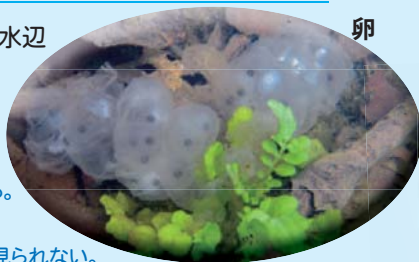
エゾサンショウウオ ★★ 北海道のサンショウウオといえばこれ!

- 場所** 卵・幼生：林内や林のそばの水辺
成体：水辺、林内
- 時期** 卵：3~5月、幼生4~6月
- 大きさ** 全長11~20センチ程度

♪卵はらせん状の透明なまくに包まれている。
♪幼生は首のあたりにエラが目立つ。
♪夜行性でカエルに比べて成体はめったに見られない。



成体



卵

ふ化10日後



幼生

♪前足から先に生える。

他にも、こんなカエルがいるよ。本州から持ち込まれた外来種も増えているんだ。

アマガエル ★★ 身近なカエル

- 場所** 水辺、草原、林のふち
- 時期** 卵：4~8月、幼生5~9月
- 大きさ** 2~4.5センチ程度(成体)



成体

♪水辺から離れた所でも見られる。



幼生

♪ヒレはたてに長い。目は横につく。

♪環境に合わせて体色を変える。

ツチガエル 外来種

- 場所** 市内では南部・東部・中央部の水辺(豊平川・月寒川・厚別川など)
- 時期** 卵：5~8月、幼生6~10月
- 大きさ** 3~6センチ程度



成体

♪背中に細長い多数のイボが目立つ。



幼生

♪目玉に十字の模様がある。
♪幼生越冬もするため、冬~春に見られることもある。

アズマヒキガエル 外来種

- 場所** 市内では北部のごく一部(茨戸川周辺)
- 時期** 卵：4~5月、幼生5~7月
- 大きさ** 4~16センチ程度



成体

♪目の後から脇腹に向かって黒っぽい太い線。



幼生

♪黒く模様もない。変態直前は2.5cmほど。

トノサマガエル 外来種

- 場所** 市内では主に東部の開けた湿地や河川周辺(平岡公園・野幌森林公園・北海道大学など)
- 時期** 卵：4~7月、幼生6~8月
- 大きさ** 5.5~9センチ程度



成体

♪背中央に緑や白っぽい太い線がある。



幼生

♪変態直前には7cmほどに成長する。

写真・監修：徳田龍弘

札幌市外で、これらのカエルやサンショウウオを見つけたときは、ハーブソン Hokkaido2018 (北海道爬虫両棲類研究会主催) に報告してみてください。(市内のデータは事務局から提供します)。くわしくは案内パンフレットや下記のサイトを見てください。http://koke-koke.com/Kamui/archives/category/herpthon

🌱 春や初夏にさく花

※「大きさ」は植物全体の長さを表す。

春から初夏にかけて、野山にはさまざまな花が咲きます。今回はその中から、白いユリのなかまとスマレのなかまに注目して、さがしてみてください。

スズラン 🌸 ★★★ 野生では少ない?! 市の花

場所 自然林の林内

時期 5～6月ごろ

大きさ 20～35センチ程度

- ♪丸い花が下向きにぶら下がる。
- ♪東部の緑地などで見られるが日陰では咲いていないことも多い。
- ♪花が葉より高くなることはあまりない。

♪葉の裏に光沢がない。

にている種

ドイツスズラン (園芸種) 🌸 ★

- ♪庭や公園に植えられているのはこちら。
- ♪花はたくさんつき、葉よりも高くなることもある。

♪葉の裏に光沢がある。毛はない。

オオタチツボスマレ 🌸 ★★★ よく見る!

場所 自然林の林内

時期 5～6月ごろ

大きさ 15～25センチ程度

- ♪花は葉の付け根につく。
- ♪茎があり、大きくなる。
- ♪葉の付け根にはギザギザの托葉がある。

ツボスマレ 🌸 ★★★ 草地にさくスマレ

場所 草地、林のふち

時期 5月ごろ

大きさ 5～20センチ程度

- ♪花は小さく白い。
- ♪下の花びらに紫のスジがある。
- ♪茎がのびてから花がさく。

オオアマドコロ 🌸★★

場所 自然林の林内

時期 5～6月ごろ

大きさ 40～75センチ

- ♪花は1～3個ずつ、葉の付け根にぶら下がる。
- ♪つつ型の花にはマルハナバチがおとずれる。

ホウチャクソウ 🌸★★

場所 自然林の林内

時期 5～6月ごろ

大きさ 30～60センチ

- ♪花は1～3個ずつ、茎の先につく。花びらが重なったような形をしている。
- ♪茎は枝分かれする。

白いユリのなかまの見分け方

オオアマドコロ	ホウチャクソウ	ワニグチソウ	チゴユリ
ミヤマナルコユリ ♪花は葉の付け根にぶら下がる。 ♪茎は枝分かれしない。 ♪大きい。	♪花の柄が長い。 ♪東部の緑地で見られる。	♪花は茎の先のみにつく。 ♪茎が枝分かれする。	♪花の付け根に2枚の苞がある。 ♪茎は枝分かれしない。 ♪小さい。

ミヤマスマレ 🌸 ★★★ 濃い色の花がきれい

場所 自然林の林内

時期 5月ごろ

大きさ 10センチ程度

- ♪背が低く、花の色が濃い紫色。
- ♪ハート形の葉が地ぎわから出る。

にている種 スミレサイシン 🌸 ★★★

- ♪花が大きく、早い時期にさく。
- ♪円山など西部で見られる。

◆地上部に茎がある 主なスマレのなかまの見分け方

オオタチツボスマレ	アイヌタチツボスマレ	ツボスマレ	タチツボスマレ	ミヤマスマレ	スミレサイシン
	♪側弁に毛	♪白く小さい ♪側弁に毛	♪距が紫色		

♪地上に立つ茎があるか、花弁に毛があるかなどで見分けます。
◆地上部に茎がない

マルハナバチのなかま

今年もやるよ!

※ ♀は働きバチ、♂はオスバチ、
♀は女王バチを示す。

花と深いかわりを持つハチのなかま。去年に引き続き情報を募集します。5つに分けた色のパターンで報告してもらいます(種名が分かる人は種名も)。「マルハナバチ調査隊2015」の手引きや「北海道マルハナバチ図鑑」も参考にしてください。

外来タイプ ★ セイヨウオオマルハナバチ

外来種



レモン+しろタイプ

♪お尻が白いのはこのタイプのみの。
♪胸の黒地にレモンイエローの帯がよく目立つ。
♪オスとメスは似ている。

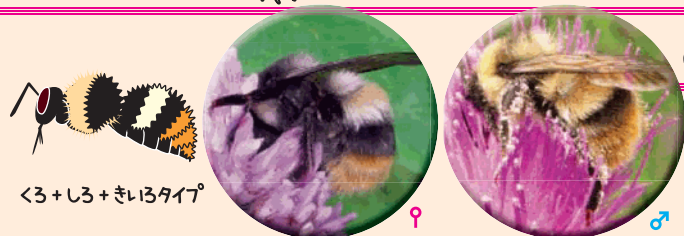
場所 開けた環境を好み、農村部や大きな公園、庭などに多い。

時期 4月から9月。8月はオスも出てくる。

花 ラベンダー、ムラサキツメクサ、ルピナス、コンフリーなど。

※トマトなどの受粉を助けるために導入された種で、野外に逃げたものが増え、在来種への悪影響などが心配されています。環境省の「特定外来生物」に指定され、生きたまま持ち運ぶことなどが禁止されています。

三色タイプ ★ オオマルが多いが、早い時期はコマルも



くろ+しろ+きいろタイプ

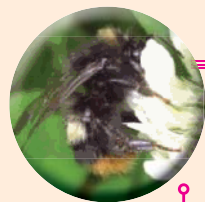
エゾオオマルハナバチ

♪黒と白の縞模様で、お尻はオレンジ色。
♪オスは全体に黄色味がかって、トーンがはっきりしない。

場所 開けた環境を好み、どのような場所でもよく見られる。

時期 4月から9月。8月はオスも出てくる。

花 ささまざまな花を利用する。クローバー・ハマナスなど。



エゾコマルハナバチ ♀

♪働きバチがオオマルに似ているが、えりの白が薄い。
♪7月後半には数が減り、黄色タイプのオスが出てくる。

エゾヒメマルハナバチ ♀

♪女王がオオマルに似ているが、胸と腹のつなぎ目が白い。
♪高山でしか見られない。



赤色タイプ ★★★ アカマルハナバチ

8月にはいなくなる!



あか目立つタイプ



♪全身赤みの強いオレンジ色で、お尻が黒い。
♪オスは赤みが薄いオレンジ色で、お尻の黒が目立たない。

場所 低地から高山まで。市街地でも見られるが少ない。

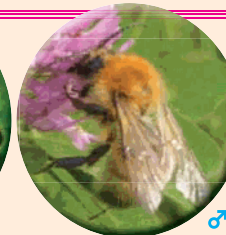
時期 4月から7月。6月から7月はオスも多い。

花 タンポポやアザミのなかま、クローバーなど。

黄色タイプ ★★ 基本はトラマル。街で見るのはコマルのオスかも。



きいろ目立つタイプ



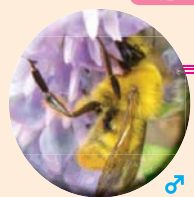
エゾトラマルハナバチ

♪全身薄いオレンジ色。
♪顔が長く、舌も長い。
♪オスとメスはよく似ている。

場所 低地から亜高山まで分布するが、市街地では少ない。

時期 6月から9月にかけて。8月後半はオスも出てくる。

花 長い花を好む。オオアマドコロ、ムラサキツメクサ、キツリフネなど。

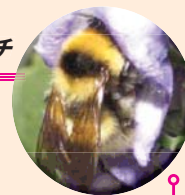


エゾコマルハナバチ ♂

♪全身明るい黄色で、お尻だけオレンジ。
♪8月中旬には見られなくなる。

エゾナガマルハナバチ

♪黄色味を帯びた灰色。
♪顔が長い。
♪主に高山に生息する。



灰色タイプ ★ 基本はニセハイロ。山ではナガマルが見られる。



しろっぽいタイプ



ハイロマルハナバチ (類)

♪全身灰色だが、むねは毛が少なく黒っぽく見える。
♪ハイロ～類にはハイロとニセハイロを含む。野外での区別は難しいが、市内ではニセ～が多いと言われる。

場所 低地の開けた場所に多い。

時期 6月から9月にかけて。8月後半はオスも出てくる。

花 クローバーやクサフジなどのマメ科の花。

チョウのなかま

※「大きさ」はハネを広げた時の幅。

森の中やその周辺、川ぞいや空き地の草むらや、庭先などをさがしてみよう!



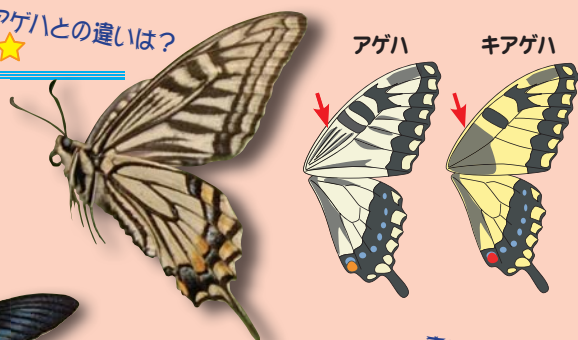
キアゲハ ★ 黄色で大きなチョウ

場所 食草がある庭先や草むらなど
時期 6月から9月(年3回羽化)
大きさ 約6~9センチ

♪ 食草はミツバやニンジンなどのセリ科の植物。

にている種 アゲハ

♪ キアゲハは前パネのつけねが全体に黒くなり、アゲハは黒い線が入る(下図の→)。



アゲハ (ナミアゲハ) ★★

キアゲハとの違いは?

場所 食樹のある庭先など
時期 6月から9月(年3回羽化)
大きさ 約6~8センチ

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。



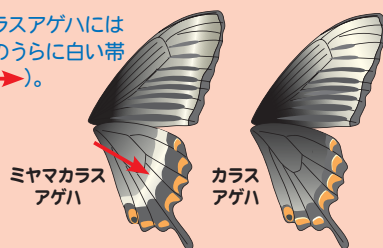
ミヤマカラスアゲハ ★★ 青いキラキラ!

場所 森林や林道ぞいに多い
時期 5月から9月(春と夏に羽化)
大きさ 約7~11センチ

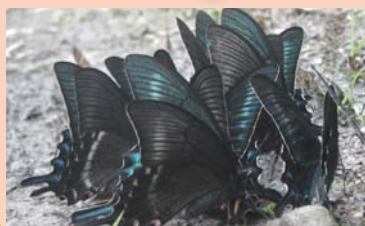
♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。
♪ アザミ類の花をよく訪れる。

にている種 カラスアゲハ

♪ ミヤマカラスアゲハには後ろパネのうらに白い帯がある(→)。



♪ 林道の上で集団で吸水する姿がよく見られる。



アゲハのなかま以外にも、きれいなチョウやよく見られるチョウをさがしてください!

ベニシジミ ★ 小さなオレンジ色

場所 川ぞいや公園、道ばたの草むらに多い
時期 5月から9月(年3回ほど羽化)
大きさ 約3センチ

♪ 食草はエゾノギシギシなどのタデ科の植物。
♪ 前ハネは両面ともオレンジ色に黒い模様がある。
♪ 夏に羽化するものはやや黒みが強くなる。



モンキチョウ ★ よく見る黄色いチョウ

場所 川ぞいや公園、道ばたの草むらに多い
時期 5月から10月(年3、4回ほど羽化)
大きさ 約5センチ

♪ 食草はシロツメクサなどのマメ科の植物。
♪ オスは黄色いハネをもち、前パネのふちが黒くなる。メスのハネはほとんどが白い。



クジャクチョウ ★★ ハネに目玉!

場所 山地の川ぞいに多い
時期 3月から5月(越冬個体)、7月から10月
大きさ 約5~6センチ

♪ 食草はイラクサ類で、キク科の花などでよく見られる。
♪ 成虫で越冬する。
♪ ハネには大きな目玉模様があるが、裏側は黒っぽく目立たない。



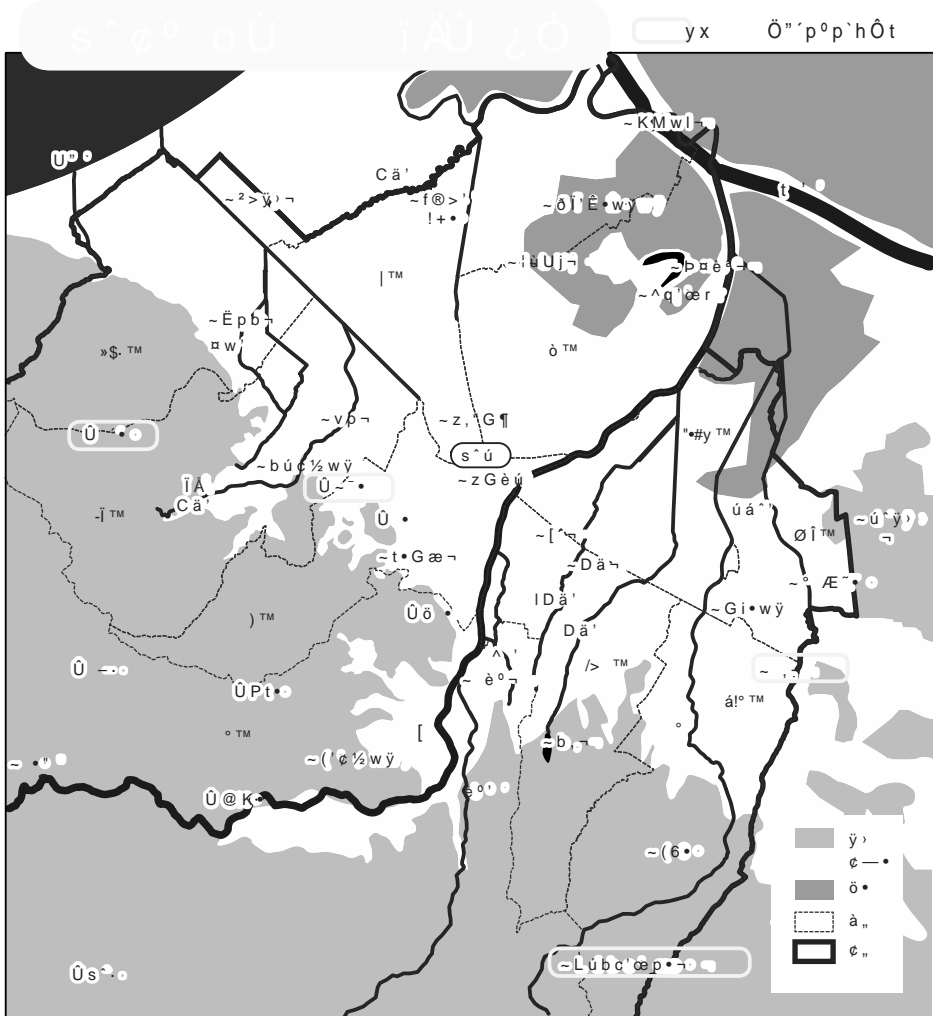
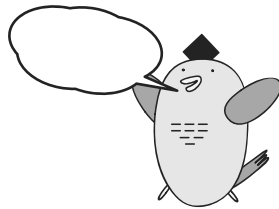
コムラサキ ★★★ 光る紫色!

場所 山地のヤナギ林のある川ぞいに多い
時期 7月から8月
大きさ 約6センチ

♪ 食草はヤナギ類。
♪ 川ぞいで吸水する姿も見られる。
♪ オスのハネは、見る角度によって紫色にかがやき美しい。メスにはこうした光沢はない。

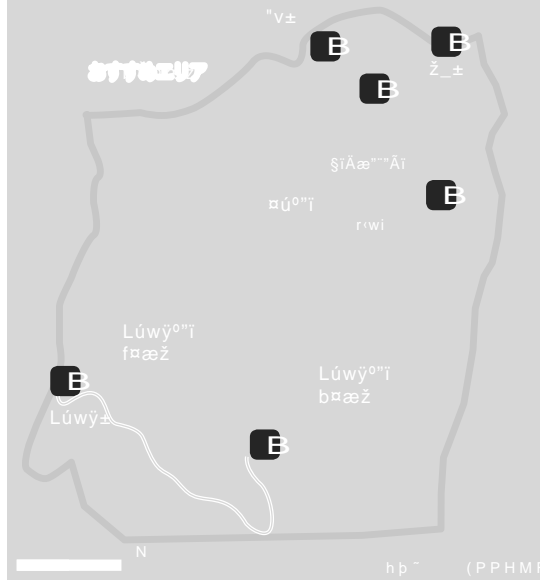


y0Áw\VúwOjzÚçËÆi½•½ãçxzHwfyt
 K"Viæ•ᐅ zð%’srp<^U`o^oXi^M{
 y‡hz—`›wy`ozGVsᐅ•ëŽwú•t<Z
 TZo†‡dæT{<wÙ iÄÚ¿Ó>€βtZTzO†
 `O{`èú> o`•bMÔtÚ¿Ót‡h{^
 t™ Ö"’txz0Á U o`•bMÔtq`o U
 ttmMo`p`‡`hwpzælo`o<^M{



Zü´mäio ÀØ

yšİÄæ””Äi• r<
 w!|Ôq`oœE”ᐅᐅᐅ
 bUzÆ txxµwÿU¿U
 “z Xw\VúU_’z!
 a w,,qærU opV‡b{
 ç½²Zw\Vú oq< 8
 \$t%T•oM‡b{

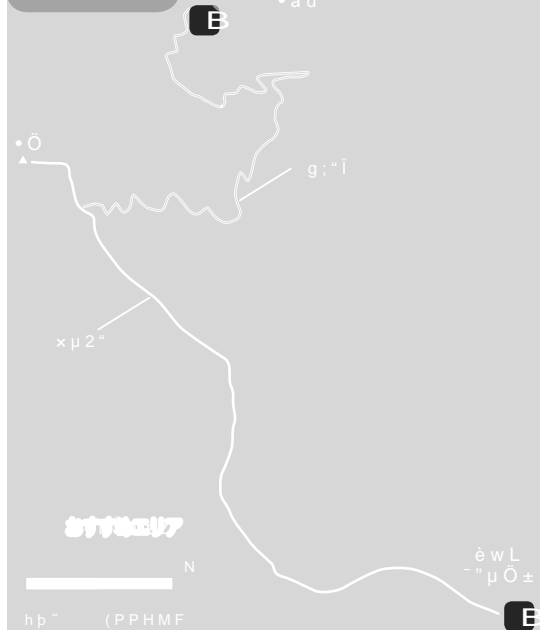


SbbŠæžp opV”!ª

- çᐅ µ—İiæ—š¿ç
- µºžš”µç —µº±i³ãççi
- _wVb,o
- ~i-z-+» Ó
- ½ãçb,o
- ÄiØb,o

Ö — >

y•Ôt Xw?‡jUqms^
 >E`b”•pb{•âúw*%
 •èwL”µwT Mwÿ>
 >2XwUSbbŠpb{.—U
 K” x•Ö‡pJ•yz2“
 Mt Xwúo<_’‡b{



SbbŠæžp opV”!ª

- úxb,o
- İİzÚÄ`é xç½ß«¹ç ÚáÚµÛè İİ>½ÄØµÛè ÄØµÛè
- ÚçËÆi½ b,o
- ½ãçb,o
- zÄiØwsT‡ İÇàiÚ